

教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成26年度事業)

平成27年7月

大仙市教育委員会

目 次

1	点検・評価の概要	1
	(1) 点検・評価の趣旨	
	(2) 点検・評価の実施方法	1
2	教育委員会の活動に関する事務	2
	(1) 教育委員会の会議の開催状況	2
	(2) 教育委員会委員の活動状況	5
	(3) 教育委員会委員の研修状況	5
3	点検・評価の対象事業	6

No.	分 野	事務・事業名	担当課等
1	学校教育	学校施設天井等落下防止対策事業	教育総務課
2	学校教育	西部学校給食センター整備事業	学校給食総合センター
3	学校教育	大仙市立中学校生徒海外派遣事業	教育指導課
4	学校教育	情報モラルいじめ対策事業	教育指導課
5	学校教育	大仙市教職員研究集会	教育研究所
6	生涯学習	生涯学習施設の使用料統一に向けた検討・協議	生涯学習課
7	芸術文化	芸術文化振興について	生涯学習課
8	生涯学習	郷土料理教室「サケの料理教室」	花館公民館
9	生涯学習	かみおか「まなびの集い」	神岡中央公民館
10	スポーツ	西仙北バスケットボール交歓大会	西仙北中央公民館
11	芸術文化	中仙市民会館自主事業 「須川展也サクソフォン・リサイタル」	中仙公民館
12	芸術文化	協和市民センター自主事業	協和公民館
13	スポーツ	南外地域運動会	南外公民館
14	生涯学習	暮らしの達人講座	仙北公民館
15	生涯学習	太田キッズ学びい教室	太田公民館
16	生涯学習	図書館資料の貸出業務	総合図書館
17	芸術文化	大仙市大曲新人音楽祭コンクール	総合市民会館
18	芸術文化	文化財保護施設管理事業	文化財保護課
19	芸術文化	鈴木空如資料調査研究事業	文化財保護課
20	スポーツ	大仙市制施行記念駅伝競争大会	スポーツ振興課
21	スポーツ	地域型地域スポーツクラブの育成と支援	スポーツ振興課

1 点検・評価の趣旨

大仙市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会が行う教育事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとしました。

2 点検・評価の実施方法

(1) 点検・評価の対象とする事務

点検・評価の対象とする事務は、平成26年度の教育委員会の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいせんビジョン、大仙市生涯学習推進計画又は大仙市スポーツ推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、21事業を選定し、点検・評価を行いました。

(2) 点検・評価の方法

点検・評価は、事務事業の点検・評価表により、担当課による自己評価を実施するとともに、有識者からの外部評価をいただきました。

(3) 外部評価していただいた有識者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、秋田大学教育文化学部 副学部長 佐藤修司教授、社会教育委員 鈴木三郎氏、前大曲小学校校長 毛利博信氏の3氏から評価していただきました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動に関する事務

(1) 教育委員会の会議の開催状況

教育委員会の会議は、毎月1回開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があります。平成26年度は、定例会のほか臨時会を2回開催し、合計14回開催しました。

開催期日 及び場所	議 案
H26. 4. 30 (定例会) 大曲図書館	議案第21号 大仙市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定に関する臨時代理について 議案第22号 平成25年度大仙市一般会計補正予算(第9号)案に関する臨時代理について 議案第23号 大仙市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する要綱の制定に関する臨時代理について 議案第24号 教育アドバイザーの任命に関する臨時代理について 議案第25号 教育アドバイザーの任命に関する臨時代理について 議案第26号 社会教育指導員の委嘱に関する臨時代理について 議案第27号 西部学校給食センター建設(厨房設備)工事請負契約案に関する臨時代理について 議案第28号 平成26年度大仙市一般会計補正予算(第2号)案に関する臨時代理について
H26. 5. 19 (定例会) 大曲図書館	議案第29号 奨学資金運営審議会委員の委嘱について 議案第30号 給食センター運営委員会委員の任命又は委嘱について
H26. 6. 23 (定例会) 和ピア	議案第31号 平成26年度大仙市一般会計補正予算(第3号)案に関する臨時代理について 議案第32号 平成26年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)案に関する臨時代理について 議案第33号 平成26年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)案に関する臨時代理について 議案第34号 払田柵跡環境整備審議会委員の委嘱について
H26. 7. 1 (臨時会) 大曲図書館	議案第35号 大仙市教育委員会委員長の選挙について 議案第36号 大仙市教育委員会教育長の任命について 議案第37号 大仙市教育委員会委員長職務代理者の指定について
H26. 7. 23 (定例会) 大曲庁舎	議案第38号 教育に関する事務の点検・評価報告書案について 議案第39号 大仙市立小学校用教科用図書の採択について
H26. 8. 20 (定例会) 大曲図書館	議案第40号 大仙市就学指導委員会委員の委嘱について 議案第41号 大仙市就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について 議案第42号 大仙市就学指導委員会委員の委嘱について 議案第43号 就学指導専門検査員の委嘱について

開催期日 及び場所	議 案	
H26. 9. 25 (定例会) 大曲図書館	議案第44号	大仙市仙北民俗資料館設置条例を廃止する条例案に関する臨時代理について
	議案第45号	大仙市民体育館条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について
	議案第46号	平成26年度大仙市一般会計補正予算(第5号)案に関する臨時代理について
	議案第47号	平成26年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第2号)案に関する臨時代理について
	議案第48号	平成26年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第2号)案に関する臨時代理について
H26. 10. 20 (定例会) 西仙北支所	議案第49号	西部学校給食センター建設(建築)工事請負契約の変更案に関する臨時代理について
H26. 11. 21 (定例会) 大曲図書館	議案なし(報告案件のみ)	
H26. 12. 22 (定例会) 大曲図書館	議案第50号	平成26年度大仙市一般会計補正予算(第9号)案に関する臨時代理について
	議案第51号	平成26年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第3号)案に関する臨時代理について
	議案第52号	大仙市民プール等の指定管理者の指定案に関する臨時代理について
	議案第53号	大仙市西仙北緑地運動広場野球場等の指定管理者の指定案に関する臨時代理について
	議案第54号	大仙市太田トレーニングセンター等の指定管理者の指定案に関する臨時代理について
	議案第55号	大台スキー場の指定管理者の指定案に関する臨時代理について
H27. 1. 23 (定例会) 大曲図書館	議案なし(報告案件のみ)	

開催期日 及び場所	議 案	
H27. 2. 18 (定例会) 大曲図書館	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案に関する臨時代理について 大仙市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例案に関する臨時代理について 大仙市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案に関する臨時代理について 大仙市旧池田氏庭園条例案に関する臨時代理について 平成26年度大仙市一般会計補正予算(第11号)案に関する臨時代理について 平成26年度大仙市一般会計補正予算(第12号)案に関する臨時代理について 平成26年度大仙市奨学資金特別会計補正予算(第1号)案に関する臨時代理について 平成27年度大仙市一般会計予算案に関する臨時代理について 平成27年度大仙市学校給食事業特別会計予算案に関する臨時代理について 平成27年度大仙市奨学資金特別会計予算案に関する臨時代理について 平成27年度大仙市スキー場事業特別会計予算案に関する臨時代理について
H27. 2. 26 (臨時会) 大曲図書館	議案第12号	県費負担教職員の人事の内申について
H27. 3. 24 (定例会) 大曲図書館	議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則案に関する臨時代理について 大仙市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 大仙市教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則の制定について 大仙市学校用務員等勤務規程の一部を改正する訓令の制定について 大仙市旧池田氏庭園管理運営規則の制定について 教育アドバイザーの任命について 教育アドバイザーの任命について 社会教育指導員の委嘱について 大仙市市民会館等運営連絡協議会委員の委嘱について 大仙市市民会館等運営連絡協議会専門委員会委員の委嘱について 大仙市文化財保護審議会委員の任命について

※ 議案番号は、暦年による一連番号です。

※ 6月及び10月の定例会は、移動教育委員会として開催しました。

(2) 教育委員会委員の活動状況

入学式	平成26年4月 5日から4月 9日まで	小学校21校、中学校11校	全32校
公民館訪問	平成26年4月10日・15日	市内 8 公民館	
学校訪問	平成26年5月21日から7月10日まで	小学校21校、中学校11校	全32校
卒業式	平成27年3月 7日から3月18日まで	小学校21校、中学校11校	全32校

(3) 教育委員会委員の研修状況

平成26年 5月26日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	委員長及び教育長が出席
平成26年 6月23日	秋田県指定有形文化財「唐松神社」視察	4人の委員が出席
平成26年 7月 1日	自主研修会(教育委員会制度の改革について)	全委員が出席
平成26年 7月18日	東北六州市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会	4人の委員が出席
平成26年 8月27日	秋田県市町村教育委員会連合会・秋田県都市教育長協議会合同研修会	委員長及び教育長が出席
平成26年10月20日	大仙市西部学校給食センター建設状況視察	4人の委員が出席
平成26年10月27日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	委員長及び教育長が出席
平成26年11月17日	大仙仙北美郷教育委員会連絡会	全委員が出席

事務事業の点検・評価表

	番号	1	分野	学校教育	担当課	教育総務課								
事業名	学校施設天井等落下防止対策事業													
事業の目的	<p>学校施設の屋内運動場等大規模空間における天井等非構造部材の落下防止対策を推進することで災害時における児童生徒等への被災を予防すること及び避難所としての機能を確保することを目的とする。</p> <p>市内の小学校21校、中学校11校合わせて32校の屋内運動場等の安全性の確保を平成27年度までの完了を目指します。</p>													
事業の実施状況	事業費		69,835千円											
	<p>東日本大震災において屋内運動場等の天井材等の非構造部材の被害が多数発生したことを受け、大規模空間における天井等の技術基準が見直され、文部科学省から学校施設のうち屋内運動場等においては、平成27年度までに落下防止対策を講ずるよう要請があった。</p> <p>事業概要</p> <table border="0"> <tr> <td>■屋内運動場等の非構造部材調査業務委託料</td> <td>小中学校32校</td> <td>9,511千円</td> </tr> <tr> <td>■実施設計等業務委託料</td> <td>小中学校32校</td> <td>17,869千円</td> </tr> <tr> <td>■工事請負費(大曲小学校・西仙北小学校)</td> <td>2校</td> <td>42,455千円</td> </tr> </table>						■屋内運動場等の非構造部材調査業務委託料	小中学校32校	9,511千円	■実施設計等業務委託料	小中学校32校	17,869千円	■工事請負費(大曲小学校・西仙北小学校)	2校
■屋内運動場等の非構造部材調査業務委託料	小中学校32校	9,511千円												
■実施設計等業務委託料	小中学校32校	17,869千円												
■工事請負費(大曲小学校・西仙北小学校)	2校	42,455千円												
自己評価	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した</td> <td><input type="checkbox"/> おおむね達成した</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった</td> <td><input type="checkbox"/> 達成できなかった</td> </tr> </table>						<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した	<input type="checkbox"/> おおむね達成した	<input type="checkbox"/> 達成したが課題があった	<input type="checkbox"/> 達成できなかった				
	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した	<input type="checkbox"/> おおむね達成した												
<input type="checkbox"/> 達成したが課題があった	<input type="checkbox"/> 達成できなかった													
<p>本事業の点検調査に当たっては、専門的な見地から実施し、その結果を踏まえ危険性及び対策の必要性について、計画を策定し実施することが重要であるため専門家に依頼した。これにより各学校ごとに必要な対策(天井材、照明器具、バスケットゴール等)について実施設計をおこない、文部科学省で促す平成27年度まで完了させる計画を組むことができた。</p> <p>また、本事業の必要性を強く認識し、国県及び学校との協議が整った大曲小学校と西仙北小学校について施工完了できたことは迅速な事業推進が図られた。</p> <p>学校施設は、児童生徒が生き生きと学び活動する場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。</p>														
課題等	<p>学校運営において、工事施工中は屋内運動場が使用できないため、その対応について学校と綿密な協議が必要である。</p>													
外部評価 有識者の意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 早期に事業の完了が可能になったことは望ましいことである。今後も、被災予防や、避難所としての機能の確保のために、総合的な対策が進められることを期待する。 ○ 市内の小・中学校合わせて32校の屋内運動場が落下防止対策を講じなければならないが、うち2校が実施済みである。文部科学省からの要請期間である27年度までにはすべてが完了する計画であった。 ○ 災害時は地域住民の避難所としての機能も持っているため、安全性の確保とともに、暖房、水、トイレ、非常食など行政組織と一体となった取組を望む。 ○ 多額の経費を投じ、計画的に学校施設の安全・安心確保に努めていただき、感謝申し上げたい。屋内運動場施設が使用できない期間は、十分な遊びや運動が制限され、児童生徒に対し大きなストレスを与える。くれぐれも、学校側との十分な連絡調整をお願いしたい。 													

事務事業の点検・評価表

		番号	2	分野	学校教育	担当課	学校給食総合センター
事業名	西部学校給食センター整備事業						
事業の目的	神岡・西仙北・協和地域の三つの学校給食センターの老朽化に伴い、新たにこれらを統合した学校給食センターを建設し、安全・安心な給食を提供できる施設、食育の拠点となる施設、災害時の拠点となる施設をコンセプトに整備を図ることを目的とする。						
事業の実施状況	事業費		1,118,359千円				
	<p>西部学校給食センター整備事業は、大仙市第1次総合計画における、年次計画に基づき実施している。</p> <p>建設は25年度、26年度の2箇年の継続事業 名称及び愛称 大仙市西部学校給食センター・西部わくわくランチ 建築面積 1,408.43㎡、延床面積 1,693.26㎡ 建築構造 鉄骨造2階建て 調理能力 1日1,500食 受配校 小学校3校(神岡小、西仙北小、協和小) 中学校3校(平和中、西仙北中、協和中) 完成 平成26年12月19日 供用開始 平成27年4月</p>						
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div>						
	<ul style="list-style-type: none"> ハサップの概念によるドライシステム方式の採用、「汚染作業区域」と「非汚染作業区域」を明確に区分化及び作業動線を一方に、食品が後戻りしないワンウェイ動線を確立したことで、より安全な給食の提供が出来る。 食物アレルギー対応室を設置したことで、特別食の調理が容易となった。 食育研修室や展示スペース、見学通路を完備したことで、食育推進が図れる。 自家発電機や受水槽の設置により災害時の炊き出しが実施できる。 生ごみを堆肥にするためのコンポストの設置により、環境に配慮したリサイクルシステムが図れる。 						
課題等	<p>食育研修室には、調理実習台を設けており、レシピの開発、講演、実習など子どもたちはもちろん、保護者や市民の交流を通じ食育の推進を図る。また、災害時の拠点として自家発電機及び受水槽を設置しているので、今年度中に防災訓練を実施する。</p>						
外部評価 有識者の意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギー対策や、食育への対応など、規模を活かした取組が可能となったことから、今後、十分な活用を期待したい。 食物アレルギー対応室の設置により、特別食の調理が容易になり今までよりも安全な給食を提供できるようになったことは、児童生徒及び保護者にとって給食センターへの信頼の増大につながっている。 安全・安心でおいしい給食を提供するために、自らに高いハードルを設定し事業を進めようと努力している。食物アレルギー対応については、今後人数や内容においてますます難儀な対応が求められると予想する。適切な対応のために、情報の収集と研鑽に努めていただきたい。 						

事務事業の点検・評価表

	番号	3	分野	学校教育	担当課	教育指導課
事業名	大仙市立中学校生徒海外派遣事業					
事業の目的	大仙市立中学校生徒を海外に派遣し、日本と異なる文化に触れる経験及び海外渡航に伴う全ての経験を通して、国際感覚を養うとともに国際理解を深めさせ、将来、地域振興に寄与する人材の育成を図る。					
事業の実施状況	事業費		6,847千円			
	<p>1 事業について（平成26年度）</p> <p>(1) 期日 1月3日～1月11日（8泊9日）</p> <p>(2) 派遣先 オーストラリア（ケアンズ方面）</p> <p>(3) 参加者 市内中学校在籍生徒20名 引率2名</p> <p>(4) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファームステイ（ホストファミリーとの生活） ・現地生徒（オージーキッズ）との交流 ・自然遺産の見学、自然体験や文化体験等 ・個人テーマ研修 <p>(5) 学習会等 ・事前学習会・説明会・結団式・報告会・解団式・報告書作成</p> <p>2 事業参加者の推移（平成17年度から毎年実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度20名、平成25年度20名、平成24年度20名 					
自己評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった </p>					
	<p>本事業の実施により、参加者はファームステイや現地生徒との交流、見学や研修などを通じて、英語や表情など体全体でコミュニケーションを図って国際感覚を養い、国際理解を深めるとともに、改めて日本や秋田、大仙のよさを見つめ直すことができた。報告会等により、経験や学び、思いを各学校の生徒や保護者等に伝え、広めることができた。</p> <p>平成18年度本事業参加者のアンケート回答（平成27年3月9日実施、参加者20名中13名が回答）によると、13名全員が事業参加は自分にとってプラスになったと答えている。</p>					
課題等	学校により希望者数にばらつきがあり、派遣生徒の選定が難しいことが課題である。					
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 事業の成果が派遣生徒にとどまらず、一般の生徒、学校全体に広げるための取組も行われている。その効果の検証とともに、派遣生徒についての追跡調査や、希望者全員が派遣可能となるような派遣枠の拡大を期待したい。</p> <p>○ 中学校生徒海外派遣事業は10年目を迎えている。各年度により学校からの希望者が多い時、少ない時があったと伺った。毎年度20名の募集人員と派遣先のオーストラリアをこのまま継続させるべきか、向こう10年間の新しい在り方を再検討してはいかがか。</p> <p>○ 世界に目を向ける貴重な機会を、市内中学生に提供している。参加人数は、ごく限られていることから、参加しての生の感想を市内中学生に、広く効果的に伝えることができるよう工夫願いたい。</p>					

事務事業の点検・評価表

	番号	4	分野	学校教育	担当課	教育指導課
事業名	情報モラルいじめ対策事業					
事業の目的	児童生徒が、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方を理解し、インターネットを通じて起こるトラブルやいじめ等を未然に防止する能力及び効果的に対処する能力等を養うとともに、保護者に対する情報モラル教育の啓発を図る。					
事業の実施状況	事業費					320千円
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>本事業の実施により、小学校は主に5、6年生が、中学校は主に全校生徒が情報モラルへの理解を深めた。 講話内容は、インターネットの利便性と危険性についての具体例、利用に際してのルールや心構え等であり、身近な内容であった。 PTA授業参観日における実施等、保護者が一緒に講話を聴いた学校が約60%であった。</p>					
課題等	いつどこで何が起きているのかチェックすることが難しいことから、違法なことをしてはいけない、人を傷つけてはいけないというモラルを身に付けさせるために、保護者を含めての計画的、継続的な対策が必要である。					
外部評価 有識者の 意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校で講話が実施されており、その効果が期待できる。その効果についても検証を続け、いじめの防止などに努めていただきたい。 ○ 市内の小・中学校では、ケータイ・スマートフォンの学校への持込みを全て禁止している。ただ、自宅での操作やインターネットの利用については、保護者の管理に任せられているのが現状だと思う。 溢れる情報社会で何が問題なのかを、子供も大人も知識を身に付けておかなければならない。 ○ 情報モラルの指導については、発達段階を考慮し、どの学年で何を指導すべきか、また道徳教育とどうリンクすべきかなど、整理すべき課題が多いように思われる。市内外の先進的取組を紹介したい。 					

事務事業の点検・評価表

		番号	5	分野	学校教育	担当課	教育研究所
事業名	大仙市教職員研究集会						
事業の目的	市内の教職員が一堂に会し、大仙市の学校教育の基本方針に沿った特色ある取組や実践について研修することを通して、児童生徒の夢を育む学校教育の推進に資する。						
事業の実施状況	事業費						0千円
	<p>・本研修会は、平成19年度から年2回、定期的で開催されている市内全教職員の研修の機会である。平成26年度の1回目（第15回教職員研究集会）は、大仙市の教育の基本方針を確認し合うことを主な目的に4月中旬に開催され、教育長講話、教育委員会事務局職員紹介、特色ある取組や実践等の紹介が主な内容である。</p> <p>・2回目（第16回教職員研究集会）は、夏季休業中に次のような内容で実施した。</p> <p>(1)期日 平成26年8月8日（金）</p> <p>(2)時間 9:30-11:30（職務別研修） 13:30-16:00（全体会）</p> <p>(3)内容 <職務別研修></p> <p>①生徒指導主事研修会（インターネット環境における課題と対策）</p> <p>②外国語活動・外国語科研修会（小・中連携の視点での授業改善他）</p> <p>③特別支援教育支援充実研修会 （自立を促す手立てとユニバーサルデザインの授業について）</p> <p><全体会></p> <p>①テーマ「グローバル化に対応した外国語教育の充実」 ～小・中・高・大の学びのつながりを通して～</p> <p>②実践発表 ・横堀小学校、大曲中学校、大曲高校</p> <p>③講話 ・神戸製鋼所人事労政部望月亮佑氏</p> <p>④パネルディスカッション他</p> <p>(4)参加 <職務別研修></p> <p>①生徒指導主事研修会（32名）</p> <p>②外国語活動・外国語科研修会（32名）</p> <p>③特別支援教育支援充実研修会（85名）</p> <p><全体会>（487名）・・・延べ636名</p>						
自己評価	<p>■ 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した</p> <p><input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった</p> <p>・第16回研究集会参加教職員でのアンケート結果から、次のような成果（○）が挙げられる。</p> <p>○職務別研修（生徒指導、外国語活動等、特別支援教育等）の研修テーマは時宜を得たものかつ必要性の高いもので、内容もとても有意義であったという回答が約85～97%であった。</p> <p>○全体会における実践発表は、それぞれの学校段階での外国語教育の充実に関する発表内容で大変参考になった。</p>						
課題等	<p>・過去5年間の教育フォーラムのテーマとして、「大仙市の学校教育文化」、「交流と連携～海外の教育事情に学ぶ～」、「災害時における学校の役割」、「キャリア教育の充」、 「グローバル化に対応した外国語教育の充実」等、今日的な課題を取り上げ、実践を積み重ねてきた。今後も、参加者のニーズを把握し、大仙市教職員の資質の向上につながるテーマ設定をしていきたい。</p>						
外部評価 有識者の意見・評価	<p>○ 高校が参加している点でも、非常に有意義な取組であり、継続、充実に努めていただきたい。教職員のニーズにあったテーマを設定することや、実践の成果と同時に課題を共有すること、成果を市の教育方針等に活かしていくことなどに今後とも努めていただきたい。</p> <p>○ 市内の教職員が一堂に会しての大事な研究集会となっている。 職務別研修は、教育最前線で奮闘されている諸先生方の活発な意見発表により有意義な内容となっている。中でも「インターネット環境における課題と対策」がテーマに取り上げられていたことは、心強く感じた。</p> <p>○ 当面する教育課題等を的確に捉え、研修内容に盛り込み効果を上げている。最近では、児童生徒が登壇し、発表する機会も設けられている。市の教育政策が、子どもたちにどう受け止められているのかを知る上で、非常に良い機会であると考えます。</p>						

事務事業の点検・評価表

	番号	6	分野	生涯学習	担当課	生涯学習課
事業名	生涯学習施設の使用料統一に向けた検討・協議					
事業の目的	生涯学習課で管理している施設の使用料が合併前の使用料体系となっており、地域格差や施設格差がある。利用者からも是正統一を求める声があり、また大仙市としても各種公共料金の統一に向けた作業を進めていることから、施設の実態を踏まえて使用料を統一するものである。					
事業の実施状況	事業費					－ 千円
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>大仙市全体で公共料金統一が進んでいる中で、公民館使用料の地域格差や施設格差は最大6倍もあったことから、利用者アンケートの結果も取り入れながら統一に向けた方針を定めることができた。</p> <p>使用料統一についての原案は、議会常任委員会にも説明済みである。改正時期は今後さらに消費税改正が予定されていることから、度重なる改正による市民の混乱を避けるため大仙市一斉で改正時期に合わせることにした。改正時期までの期間で、運用に地域差や施設差がある減額免除規定の統一を進める予定である。</p>					
課題等	使用料統一の方針は示すことができたが、減免基準については未だにそれぞれの地域で合併前の基準を踏まえ独自に減額免除規定を柔軟に運用しており、運用方法に地域差や施設差があることから、将来的な財政状況も視野にいれながら段階的に減免範囲の見直しや施設使用料の一部徴収も検討すべきと考えている。また、その他の施設は、本来の生涯学習施設とは一線を画した利用実態であり、今後実情に沿った形での譲渡や再編廃止を地元と協議し、再編を計画したい。					
外部評価 有識者の 意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用料や減免規定の統一は、機会均等、平等の観点からも実現していただくとともに、負担増をできるだけ押さえ、利用の促進が図られるように留意していただきたい。統廃合、再編については、利用者、住民の声を聴きながら、広く納得が得られるように、慎重かつ計画的に取り組んでいただきたい。 ○ 公民館をはじめとした生涯学習課で管理している施設は数も多く、地域ごとの料金格差は大きいものがある。公民館使用料の地域格差は、最大で6倍と大きな開きがあった。使用料統一の方針については、原案を議会に示しているところであり、今後も丁寧な説明をしながら議会承認まで頑張ってもらいたい。 ○ 減免基準については、地域によっては既得権的な考え方も存在するであろうと予想する。丁寧な説明により理解を得ながら、事業の目的が達成され、市としての統一感のある運用を期待する。 					

事務事業の点検・評価表

	番号	8	分野	生涯学習	担当課	花館公民館
事業名	郷土料理教室「サケの料理教室」					
事業の目的	郷土料理を通して、花館の食文化や歴史に興味や関心を持ち、伝統文化の継承につなげる。また、花館の豊かな自然や恵みに感謝する心を養う機会とする。					
事業の実施状況	事業費					6千円
事業の 実施状況	<p>○平成25年度に新事業として、雄物川鮭増殖漁業組合より協力を頂き、約120年続く郷土料理「さけの紅葉漬」を学ぶ教室を開催。募集20名のところ、60名の希望者があり、2回に分けて開催する。</p> <p>○平成26年度は、コミュニティ会議主催で小学生が鮭の一生を学び、鮭のつかみ取りを行う機会もあることから、花館小学校の保護者を対象として開催。20名参加。花館と鮭の歴史の講話、鮭の捌き方や郷土料理を学んだ。また、子どもの好む鮭料理も学ぶ。</p> <p>※雄物川鮭増殖漁業組合より、参加者一人に一匹の鮭が提供される。 講師もボランティア</p>					
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>花館地域ならではの自然の恵み、そして郷土料理があるが、それらを知る人が少なくなっていることからこの教室を開催。募集2日で定員を超える反響ぶりに驚いた。求める人がいて、そして、それに応えてくださる地域の力(雄物川鮭増殖漁業組合)をお借りして事業が開催できることは嬉しく思う。郷土料理は1日のできる料理ではないので、理解できない部分があったのではないかと思われ、過程ごとに教室開催できれば理解度も高まり、互いに完成の喜びも味わえたのではないか。</p>					
課題等	<p>目的を達成するには、各世代に伝えていくためにも継続して行っていく必要があると思われる。</p> <p>また、小学生を対象として、食育と併せて郷土を学ぶ機会を提供していきたい。</p> <p>数回での教室開催にして、郷土料理ができる過程を実習を交えながら覚えていただき、伝統文化を継承させていくべきと思われる。</p>					
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 社会教育を通じて、地域の産業、自然と子供、保護者を結びつける意味で、よい機会となっている。今後、小学校と組織的に連携し、総合的な学習の時間などに組み込んでいくことや、PTAと連携して実施するなどの工夫を検討していただきたい。</p> <p>○ サケを巡る自然環境と昔からの食文化の大切さを子供たちに伝えることに大切さを感じた。地元住民の協力をもとに今後も継続してほしい事業である。</p> <p>○ 定員を大幅に超える参加希望に、開催回数を増やし全員の希望を叶える等、積極的配慮に敬意を表す。花館地域の河川合流による広大な河川敷には、多くの動植物が生息する。また、伝統行事も多い。鮭に限らず、恵まれた地域素材を一層有効に活用いただきたい。</p>					

事務事業の点検・評価表

番号	9	分野	生涯学習	担当課	神岡中央公民館
事業名	かみおか「まなびの集い」				
事業の目的	神岡地域の生涯学習の推進と向上を図るため、教室・講座・自主活動団体の練習や作品成果の発表等を通して、更なる学習意欲の高揚を図ることを目的とする。				
事業の実施状況	事業費	68千円			
	①開催期日	毎年3月第1水曜日	作品展示	9時～16時30分 学習発表 13時～16時30分	
	②会場	かみおか嶽雄館・神岡環境改善センター			
	③内容	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示 高齢者大学 書道・俳句・水墨画 くらしの教室 和裁・リフォーム・生け花・絵手紙 自主活動団体 ちぎり絵・押し絵・フラワーアレンジメント ・学習発表 高齢者大学 詩吟・民謡 自主活動団体 フラダンス・民謡・新舞踊・コーラス 社交ダンス ・参加の状況 展示団体10団体 108人 108点 芸能発表7団体 103人 21日 個人発表 3人 3日 H25参加の状況 展示団体8団体 95人 98点 芸能発表8団体 116人 28日 個人発表 3人 4日 			
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった		<input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった		
	・公民館事業や公民館を活動拠点として生涯学習に取り組んでいる方々は、1年間学んだ成果を広く皆様に発表する機会を楽しみにしている。 ・地域の方々が作品、芸能を鑑賞し生涯学習の楽しさや、大切さを感じていただき更なる学習意欲と参加を図れた。 ・芸能発表には、多くの来場を心掛け公報で周知を図ったが、平日ということもあり準備した椅子に空席が見られた。				
課題等	・芸能発表終盤には、空席が多くなり発表する団体にとっては寂しいものとなった。出演する団体は最後まで、或いは他の団体の発表は客席で見学するなどのルールを取り決める必要がある。また、プログラム構成を含め、最後まで盛会である催し物にしなければならない。				
外部評価 有識者の意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参加者、見学者を増やす点からは、土曜日開催に戻すことも検討課題であろう。平日に実施するのであれば、学校と連携して、子供たちに参観してもらったり、交流することが考えられる。異年齢交流の場として、貴重なようにも思う。 ○ 受講生の皆さんが1年間学んできた生涯学習の成果を発表する場は、一番の楽しみとなっている。発表会は毎年似たような内容になるのはやむを得ないことであるが、観客が楽しみに待っている行事を後段に取り入れるなどの工夫も必要と思われる。 ○ 自分の作った作品や、身につけた学芸を見てもらうことは、更なる活動意欲を喚起し作品を高めていく上で大切なことと考える。発表会においては、客席の空席の多さにめげず、盛会を目指してアイデアを持ち寄り、一層工夫いただきたい。 				

事務事業の点検・評価表

番号	10	分野	スポーツ	担当課	西仙北中央公民館																				
事業名	西仙北バスケットボール交歓大会																								
事業の目的	大仙市スポーツ推進計画に基づき、市民の誰もがライフステージに応じて、気楽にスポーツを行える環境を整え、スポーツによる地域の活性化を推進する。																								
事業の実施状況	事業費				70千円																				
	<p>毎年12月に実施している西仙北バスケットボール交歓大会は、小学生の部・中学生の部・高校生以上を一般の部に振り分け、大仙市バスケットボール協会西仙北支部の協力を得て冬季のスポーツ大会として定着している。 平成26年度の大会では、小学生・中学生からの参加は得られず、一般の部のみでの開催となった。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th>平成24年度開催状況</th> <th>平成25年度開催状況</th> <th>平成26年度開催状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催日:12月23日</td> <td>開催日:12月15日</td> <td>開催日:12月21日</td> </tr> <tr> <td>参加チーム数</td> <td>参加チーム数</td> <td>参加チーム数</td> </tr> <tr> <td>小学生の部 4チーム</td> <td>小学生の部 3チーム</td> <td>小学生の部 無し</td> </tr> <tr> <td>中学生の部 3チーム</td> <td>中学生の部 6チーム</td> <td>中学生の部 無し</td> </tr> <tr> <td>一般の部 6チーム</td> <td>一般の部 5チーム</td> <td>一般の部 7チーム</td> </tr> <tr> <td>参加者数 97人</td> <td>参加者数 105人</td> <td>参加者数 53人</td> </tr> </tbody> </table>					平成24年度開催状況	平成25年度開催状況	平成26年度開催状況	開催日:12月23日	開催日:12月15日	開催日:12月21日	参加チーム数	参加チーム数	参加チーム数	小学生の部 4チーム	小学生の部 3チーム	小学生の部 無し	中学生の部 3チーム	中学生の部 6チーム	中学生の部 無し	一般の部 6チーム	一般の部 5チーム	一般の部 7チーム	参加者数 97人	参加者数 105人
平成24年度開催状況	平成25年度開催状況	平成26年度開催状況																							
開催日:12月23日	開催日:12月15日	開催日:12月21日																							
参加チーム数	参加チーム数	参加チーム数																							
小学生の部 4チーム	小学生の部 3チーム	小学生の部 無し																							
中学生の部 3チーム	中学生の部 6チーム	中学生の部 無し																							
一般の部 6チーム	一般の部 5チーム	一般の部 7チーム																							
参加者数 97人	参加者数 105人	参加者数 53人																							
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった																								
	<p>平成26年度の大会時には、小学生と中学生からの参加は得られず残念であったが、一般の方々から多数参加いただき盛り上がった内容であった。 参加チームの一般の部は、職場内や地域の仲間、更には高校生の参加もあり、若い方々の冬場の運動不足解消やストレス発散の大会にもなっている。 また、参加チーム数によってはトーナメント方式や、リーグ戦に切り替えて柔軟に当日の対戦方法を決定している。</p>																								
課題等	<p>小学校・中学校ともに1校に統合となったことから、今後、小学生・中学生チームの増加は難しいと考えられる。一般での参加者は、バスケットボール経験者が主であるため、経験が無くても楽しくプレーができるようなアトラクションを工夫しながら啓発し、冬場の運動不足の解消やストレスを発散してもらえるような環境づくりをしていく。</p>																								
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 小学生、中学生の参加が得られなかったことは残念であり、今後、日程の調整を柔軟に行っていただきたい。小学校・中学校の統合により、チーム数が減ることが予想されるが、バスケットが得意でない子どもも参加してもらい、実力のある子を各チームに均等に配置するなど、工夫することが考えられる。今後、学校との連携を密にしていきたい。</p> <p>○ バスケットボールを介した冬期間の体力づくりに成果を上げていると思われる。 こうした行事を長続きさせるために、新たな発想で魅力ある大会に発展させるよう頑張ってもらいたい。</p> <p>○ 子どもたちの参加がないことで、交換大会が少し寂しいものになったであろうと推察する。小・中学校とも、学校対抗は不可能でも、希望者たちが自由にチームをつくり試合を楽しむようことができるよう、簡易ルールを工夫するなどした上で参加を働きかけてはいかがだろうか。</p>																								

事務事業の点検・評価表

		番号	11	分野	芸術・文化	担当課	中仙公民館
事業名	中仙市民会館自主事業「須川展也サクソフォン・リサイタル」						
事業の目的	地域住民の方に、身近な場所で芸術文化を提供することにより、芸術・文化の向上に資することを目的としている。						
事業の実施状況	事業費						2,014千円
	<p>・開催日時 平成26年12月14日(日) 午後2時～(プレコンサート午後1時30分～)</p> <p>・開催場所 中仙市民会館「ドンパル」</p> <p>・入場者 約400人(客席数 536席)</p> <p>・内 容 【第1部】(プレコンサート) 須川展也と大仙市立中仙中学校吹奏楽部&OB・OGとの共演</p> <p>【第2部】 須川展也サクソフォン・リサイタル</p> <p>※初めての試みとして「学生応援チケット」を発売した。学生応援チケットとは「素晴らしい音楽をより多くの学生たちに鑑賞してほしい」という願いから、趣旨に賛同いただけるお客様に学生入場料(1,000円)も含めて購入いただくチケット。学生応援チケット一枚につき一人の学生を御招待。</p>						
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった		<input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった				
	<p>・県南の高校と大仙市、仙北市、美郷町の中学校の吹奏楽部にチラシを配布し、鑑賞希望者を募集したところ、180名の申し込みがあった。</p> <p>・地域の方や、地元中仙土友会、中仙ライオンズクラブの会員有志が学生用チケットを買ってくださり招待用入場券を確保することができた。</p> <p>・須川さんの演奏はもちろんのこと、中仙中学校吹奏楽部とそのOB・OGで結成された楽団と須川さんの指揮とソロによるプレコンサートも好評で、良いコンサートになった。</p> <p>・アンケートにプレコンサートに出演した学生さんから「今日の演奏を生かして頑張ります。」、学生の家族から「子ども(孫)の良い思い出となりました。」等の感想を数多くいただいた。</p> <p>・須川さんの音楽に触れ、「良い音楽に触れる機会を与えていただいていたありがとうございます」との言葉もたくさんいただくことができた。</p>						
課題等	一人でも多くの方に良い芸術に触れていただくため、また、興味や関心を抱いていただくために、より多くの情報提供を行い、会場を満席にしていきたい。						
外部評価 有識者の意見・評価	<p>○ よい機会であるので、学生用チケットの販売方法を工夫していただき、できるだけ多くの子供たちが鑑賞できるように努めていただきたい。</p> <p>○ プロの音楽家の生演奏を聴く機会は多くはないが、行事を企画してもそれに見合う参観者の確保が難しい中、地元中学生との合同演奏が効果をあげていることが伺われる。</p> <p>○ 学生用チケット販売や、プロのミュージシャンと地元中学校吹奏学部とそのOB・OGをジョイントさせる等の豊富なアイデアが素晴らしい。一層、芸術を楽しむ風土を育てていただきたい。</p>						

事務事業の点検・評価表

	番号	12	分野	芸術・文化	担当課	協和公民館
事業名	協和市民センター自主事業					
事業の目的	芸術文化の鑑賞機会を市民に提供し、芸術文化活動の向上に資するため					
事業の実施状況	事業費	9,185千円				
	○自主事業の企画並びに実施					
	事業名	事業費	入場者数			
	【平成24年度】					
	海上自衛隊大湊音楽隊コンサート	473	483			
	三遊亭円楽独演会	2,420	450			
	ピリーバンバン コンサート	3,406	481			
	能公演(観世流)	4,316	301			
	【平成25年度】					
	海上自衛隊大湊音楽隊コンサート	455	500			
	大仙太鼓フェスティバル	1,624	422			
	林家木久扇・木久蔵親子会	2,399	264			
	能公演(喜多流)	4,387	392			
【平成26年度】						
航空自衛隊北部航空音楽隊コンサート	483	483				
小椋佳コンサート	4,384	478				
能公演(観世流)	4,318	314				
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった					
	<p>自衛隊音楽隊コンサートについては、無料でもあるが迫力があり、毎年多くの集客が見られる。 能公演については、集客について固定化している点がある。 中高年向けのコンサートについては、ある程度の集客が見込めるのではないかと思われる。 (H24年度ピリーバンバンコンサート9割、H26年度小椋佳コンサート満席)</p>					
課題等	よりよい集客を目指したイベントの企画立案のため、会館職員がアイデアを出して創意工夫する必要がある。また、お客様を満足させるイベントの企画検討する必要がある。					
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 能などについては、実施日より少し前に販売を締め切り、余った席は、学校で鑑賞希望者(できるだけ無料)を募ることもあり得るように思うので、検討をお願いしたい。</p> <p>○ 自主事業の開催には、毎年頭を痛めていることと思う。少ない経費で多くの観客を動員することの難しさに、職員のアイデアが大きく左右される事業でもある。 こうした制約の中で、毎年行わる事業の展開には工夫の跡が伺われる。</p> <p>○ 能公演は、協和市民センターの特色として是非継続願いたいですが、費用対効果からすると、集客のためにPR等で一工夫が必要か。</p>					

事務事業の点検・評価表

	番号	13	分野	スポーツ	担当課	南外公民館
事業名	南外地域運動会					
事業の目的	東日本大震災発生以降、地域の「絆」というものが大変重要視されている中、地域における近所づきあいや声かけ、ふれあいなどが年々希薄になっている。このような現状を鑑み、南外地域住民総参加の運動会による交流を通して、世代や区域を超えた親睦を図りながら地域をより活性化するため					
事業の実施状況	事業費		605千円			
	南外小学校の運動会も兼ねて『つなげよう地域の輪』をテーマに「第3回南外地域運動会」を開催した。					
	【実施日時】	平成26年9月7日(日) 8:30～15:30				
	【会場】	南外小学校グラウンド				
	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・園児、小・中学生、一般市民が出場できるプログラムの構成 ・12区域の対抗戦 ・中学生、小・中学校教員、支所・公民館職員、自治会代表者、地域活性化支援協議会会員等で役割を分担 				
	【経費】	地域枠予算の活用、地域内事業所からの協力金(寄附金)				
	【参加者数】	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回大会(平成24年度) 1,500人 ・第2回大会(平成25年度) 1,700人 ・第3回大会(平成26年度) 1,500人 				
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>南外地域の運動会は、合併前の平成15年9月に「村民体育祭」と称して実施されたのを最後に、その後の開催は途絶えていたが、平成24年「運動会で地域に活気を」と、南外小学校と合同開催という形で9年ぶりに復活した。</p> <p>この運動会は、中学生も大会運営にボランティアとして大きく関わるなど、園児から高齢者まで地域住民総参加の交流の場となっている。競技での交流はもちろん、昼食は親睦を図りながら各テントで地域ごとに摂るなど、近所で暮らしていてもなかなか会話をすることの少ない小・中学生と高齢者のふれあいがあちこちで見受けられた。</p> <p>また、自治会活動が人口減少などにより今までの枠組みでは難しくなってきたため、運動会の区割りが元となって、南外地域自主防災組織が再編されるなど、各分野にも様々な影響を与えている。運動会での交流が新たな枠組みでの住民同士の絆を強くし、災害時共助意識の気運高揚にも一役買っている。</p>					
課題等	<p>この事業には、学校、支所、公民館、地域活性化支援協議会、自治会、老人クラブ、婦人会等多くの団体が関わり成り立っている。今後お互いの信頼関係を大切に、協力体制を維持していくことが必要である。</p> <p>また、小学校との合同開催ということで、プログラムの構成についても検討の余地がある。</p>					
外部評価 有識者の 意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が地域の核となっていることを示す典型的な事業であり、ぜひ継続、発展させていただきたい。できれば、他にもこの成果を発信して、南外地域以外でも取り組んでほしい事業である。 ○ 合併以前はどこの地域でも運動会が盛んであった。しかし、合併前後を境にほとんどの地域で地域運動会が途絶えてしまっている。こうした中で、南外地域住民の各種団体や職員の努力によって地域運動会を復活させたことの意義は大きい。南外地域全住民が参加する運動会は地域活性化の一役を担うものである。 ○ 1,500名も参加する地域運動会の開催、素晴らしいことである。それだけに、各団体との連絡調整等での難儀も少なくないと思われるが、郷土を愛する人材育成のために、一層の進展を期待する。 					

事務事業の点検・評価表

	番号	14	分野	生涯学習	担当課	仙北公民館
事業名	暮らしの達人講座					
事業の目的	日々の暮らしや趣味に役立つ講座を開催することにより、市民の生活が豊かになるお手伝いをするを目的とする。					
事業の実施状況	事業費		65千円			
	<p>①対象者 大仙市民</p> <p>②開催日 5月～3月の期間中 計7企画</p> <p>③事業内容 26年度はスポーツ、美容・健康、料理、文化、防災などの様々なテーマで講座を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月28日(水) 「スポーツ吹矢体験講座」(チャレンジデーに実施)、受講者10名 ・6月29日(日) 「からだづくり講座」、受講者22名 ・7月31日(木) 「野菜ソムリエ講座」、受講者39名 ・8月5日(火) 「はなび講座」、受講者17名 ・9月26日(金)、27日(土) 「アロマキャンドル・ヨガ体験講座」、受講者延べ44名 ・11月29日(土) 「本場キムチ作り講座」、受講者15名 ・3月11日(水) 「災害時24時間キット作り講座」(東日本大震災の日に実施)、受講者34名 <p>④周知方法 市広報、市ホームページ、市公式フェイスブックへの掲載、市内各公民館へポスター配布、仙北地域の全戸配布チラシ、報道機関へのプレスリリース</p> <p>⑤事業実績 H24年度より実施(H24年度:7企画実施、受講者数延べ121名、H25年度:8企画実施、受講者数延べ145名、H26年度:7企画実施、受講者数延べ181名)</p>					
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>テーマを変えながら七つの講座を行った。毎回たいへん好評で、キャンセル待ちもあり、あまりにも人気があった講座は定員を増やしたり、講座の回数を増やすなどして対応した。また、講座ごとにアンケートをとり受講者の感想や要望等情報収集に努めた。さらに、報道機関にプレスリリースをし、講座の周知や取材に協力をいただいた結果、新聞等に講座の記事を掲載してもらうことができ、広く講座を紹介する機会を増やすことができた。</p>					
課題等	予算が年々減ってきているので、費用がかからず、市民のニーズに合致するような講座の開催を増やす必要がある。					
外部評価 有識者の 意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年々参加者数が増えており、そのための取組、工夫がなされている。ニーズ調査を行って、それに応える講座が開設できるように今後も努めていただきたい。 ○ 七つの講座は定員を増やさなければならぬほどの好評であった。少ない経費で工夫された跡が伺える。他の公民館でも参考にしてもらいたいと思う。 ○ 「野菜ソムリエ」「アロマキャンドル・ヨガ」等、地域の人々が参加したくなる講座の開発やネーミングの工夫が素晴らしい。一層、地域に喜ばれる講座の開設に努めていただきたい。 					

事務事業の点検・評価表

	番号	15	分野	生涯学習	担当課	太田公民館																											
事業名	太田キッズ学び教室																																
事業の目的	地域社会が一体となって子どもを育てる環境づくりの一つとして、学ぶ楽しさの体感と生涯学び続ける力の体得を願い、長期休業中に太田地域在住の小学生を対象に、地域のボランティア(高校生以上)とのふれあいを通した教室(学習会)を開催し、学力、心力、社会力の向上を図る。																																
事業の実施状況	事業費		0千円																														
事業の実施状況	<p>参加者(小学生)が自分で勉強したい、教わりたい問題やテキスト・問題集を持参し、ボランティアの手助けで自主学習を進める。参加者とボランティアの交流を図り、互いにふれあい、学びあう教室(学習会)を実施。</p> <p>また、夏休み中の学び教室・番外編として、太田地域にある農業振興情報センターにおいて、地元で生産されている米や枝豆、野菜について勉強したり、ブルーベリーの収穫やネギの皮むきなど地元野菜の収穫体験を実施した。</p> <p>①開催日 7月23日、24日、25日、28日、29日の5日間(夏季休業中) 1月5日、6日 の2日間(冬季休業中)</p> <p>②参加人数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">平成24年度</td> <td style="width: 10%;">小学生</td> <td style="width: 10%;">延べ</td> <td style="width: 10%;">868人</td> <td style="width: 10%;">ボランティア(高校生</td> <td style="width: 10%;">延べ28人</td> <td style="width: 10%;">大人</td> <td style="width: 10%;">延べ</td> <td style="width: 10%;">93人)</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>小学生</td> <td>延べ</td> <td>830人</td> <td>ボランティア(高校生</td> <td>延べ48人</td> <td>大人</td> <td>延べ</td> <td>97人)</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>小学生</td> <td>延べ</td> <td>962人</td> <td>ボランティア(高校生</td> <td>延べ29人</td> <td>大人</td> <td>延べ</td> <td>84人)</td> </tr> </table>						平成24年度	小学生	延べ	868人	ボランティア(高校生	延べ28人	大人	延べ	93人)	平成25年度	小学生	延べ	830人	ボランティア(高校生	延べ48人	大人	延べ	97人)	平成26年度	小学生	延べ	962人	ボランティア(高校生	延べ29人	大人	延べ	84人)
平成24年度	小学生	延べ	868人	ボランティア(高校生	延べ28人	大人	延べ	93人)																									
平成25年度	小学生	延べ	830人	ボランティア(高校生	延べ48人	大人	延べ	97人)																									
平成26年度	小学生	延べ	962人	ボランティア(高校生	延べ29人	大人	延べ	84人)																									
自己評価	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった </p> <p>長期休業中の学習の場として平成17年度から始まった「太田キッズ学び教室」は、子どもたちや地域ボランティアの方たちにも深く浸透していて、毎回多くの児童が参加している。太田地域の一般ボランティア、近隣の高校生のボランティアにも参加していただき、学習だけでなくボランティアとのかかわりや交流も見られ、お互いの学び場となっている。また、農業収穫体験では、野菜について関心を深めるとともに、ふるさと太田の良さを体験することができた。参加した児童や高校生、一般のボランティアの方からは、「楽しかった」「また、来年も参加したい」と、好評を得ている。</p>																																
課題等	<p>事業が周知され、参加児童が多くなっていることもあり、ボランティア不足が課題となっている。また、夏休み中の学び教室では、後半になると学習に集中できない児童が数名いる。今後、内容や日程を検討し事業を継続する必要がある。</p>																																
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 学習だけでなく、体験活動も行われており、とても有意義な事業となっている。ボランティア不足を解決するためには、近隣の高校と組織的に提携して、高校生を募集することが必要である。教員志望等の大学生を募集することも検討していただきたい。</p> <p>○ この事業は、他の各小・中学校でも独自事業として対応しているところが多いようだ。ただ、各校とも地域のボランティアを確保することが難しいようであった。</p> <p>太田地域は17年度から高校生と大人がこの事業に賛同した方々が多数参加していることから、地域住民に浸透しているのだろう。今後も継続してほしい事業である。</p> <p>○ 児童数減少が進む中で、参加数が増加傾向にあることは、魅力ある事業であることの証明に他ならない。高校では、生徒のボランティア活動を義務付けている学校も多い。高校に直接コンタクトをとる事を薦めたい。また活動の中に、中学生が参画できる方途について検討願いたい。</p>																																

事務事業の点検・評価表

		番号	16	分野	生涯学習	担当課	総合図書館
事業名	図書館資料の貸出業務						
事業の目的	多様化する図書館ニーズへの対応とサービス水準の維持・向上及市民学習要求に対し、必要な資料を収集保存し、市民等に対し閲覧、貸出のサービスを提供する。						
事業の実施状況	事業費						11,000千円
	<p>平成17年大仙市誕生から開館時間及び開館日数がまちまちであり課題になっていたが、平成21年度から8館の開館時間及び開館日数の統一を図り一体的な運営により、より多くの生涯学習の場を提供し、市民サービスの向上を図ってきた。</p> <p>所蔵資料については、常に新しい資料を求める市民の要望や、高度・多用化する図書館ニーズへの対応など、限られた予算で特色ある公共図書館の構築を目指し充実を図ってきた。</p> <p>開館時間 大曲図書館 9:00～19:00、大曲図書館以外 9:00～18:00 開館日数 平成26年度8図書館平均340日 貸出規則 図書・雑誌2週間7冊まで、視聴覚資料1週間3点まで 貸出人数 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 77,954人 75,222人 74,120人 71,904人 71,279人 69,376人 貸出冊数 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 232,362冊 228,733冊 230,875冊 221,747冊 222,402冊 224,911冊</p>						
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった						
	<p>大仙市では、重複本を極力避け、各図書館の特色を出すため、各館の重点を置いている図書及び調べ学習の図書の充実を図り、基幹図書館と地域図書館の充実を図ってきた。図書の不足分については、相互貸借を積極的に活用し市民サービスの向上に努めた。</p> <p>人口減少に加え、連年の大雪による利用者の減少、平成24年度の大曲図書館空調設備改修工事に伴う利用者の減少等があり、平成21年度のピーク時まで回復できていない。</p>						
課題等	平成27年4月に「第2次親と子の夢を育む読書活動推進計画」を策定し、新たに「だいせん読書の日」を設けるなど、市民全体の読書活動を推進している。図書館の利用価値に加え、読書の楽しさ、生活に役立つ情報の提供のPR、市民誰もが気軽に利用できる図書館であることを広く広報する必要がある。						
外部評価 有識者の意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人口減少、少子高齢化、大雪、工事などの条件の中で、成果が挙げられている。学校図書館とのネットワークにも一層取り組んでいただきたい。 ○ 平成21年度からの貸出人数と貸出冊数との関係から、一人当たりの利用冊数が増えていることが分かった。「だいせん読書の日」を市民にもっと普及させ、読書の楽しさに触れあえる図書館を目指していただきたい。 ○ 様々なアイデアと工夫により、一層市民に親しまれ必要とされる図書館を目指していただきたい。特に幼い子どもたちが、ゲーム機でのゲームに熱中するあまり、ゲーム依存症の状況に陥り弊害が生じているケースが少なくない。そのような子を、読書の楽しさで救ってあげたい。 						

事務事業の点検・評価表

	番号	17	分野	芸術・文化	担当課	総合市民会館																																									
事業名	大仙市大曲新人音楽祭コンクール																																														
事業の目的	若い音楽家による全国規模の演奏コンクールを実施し、将来性のある音楽家の発掘と育成を図ることにより、地方における音楽文化の振興と環境づくりに寄与することを目的として開催している。																																														
事業の実施状況	事業費		4,493千円																																												
	① 開催時期 毎年1月第2土・日曜日(2日間) ② 開催場所 大曲市民会館 ③ 開催部門 ピアノ、管楽器、声楽 ④ 出場資格 高校生以上30歳まで 声楽部門は30歳までの制限なし ⑤ 企画運営 大仙市大曲新人音楽祭コンクール実行委員会(事務局:大曲市民会館)																																														
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">【出場者数】</td> <td style="text-align: center;">H24年度(25回)</td> <td style="text-align: center;">H25年度(26回)</td> <td style="text-align: center;">H26年度(27回)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ピアノ</td> <td style="text-align: center;">12名</td> <td style="text-align: center;">14名</td> <td style="text-align: center;">16名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>管楽器</td> <td style="text-align: center;">18名</td> <td style="text-align: center;">33名</td> <td style="text-align: center;">24名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>声楽</td> <td style="text-align: center;">17名</td> <td style="text-align: center;">22名</td> <td style="text-align: center;">11名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">47名</td> <td style="text-align: center;">69名</td> <td style="text-align: center;">51名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>【観客数】</td> <td style="text-align: center;">491名</td> <td style="text-align: center;">467名</td> <td style="text-align: center;">483名</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>						【出場者数】	H24年度(25回)	H25年度(26回)	H26年度(27回)				ピアノ	12名	14名	16名				管楽器	18名	33名	24名				声楽	17名	22名	11名				合計	47名	69名	51名				【観客数】	491名	467名	483名		
【出場者数】	H24年度(25回)	H25年度(26回)	H26年度(27回)																																												
ピアノ	12名	14名	16名																																												
管楽器	18名	33名	24名																																												
声楽	17名	22名	11名																																												
合計	47名	69名	51名																																												
【観客数】	491名	467名	483名																																												
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>・ H25年度(26回)から、コンクールのさらなる充実を図るため審査員と開催部門を一新し審査員として本市出身でドイツ在住の声楽家小松英典氏や東京藝術大学音楽学部長をはじめとする各界の著名な先生のほか、海外からも世界的ソプラノ歌手であるエディット・マティス氏(H25年度のみ)をお迎えし、出場者のレベル向上が図られた。</p> <p>・ 市内小・中学校と連携して、「音のまち大曲楽器サポート事業」対象校の児童生徒を会場に招待し、子どもたちに豊かな心や感性を育む機会を提供している。</p> <p>・ コンクールの運営は、市民参画による実行委員会と市民ボランティアが行っており、「市民との協働のまちづくり」に有効である。</p>																																														
課題等	近年、全国規模の音楽コンクールが多数ある中、出場者を集めることが困難な状況になっている。これまで継続した「音楽のまち」としての伝統は守りつつ、さらに市民が親しみ地元が盛り上がることで市民に還元できるコンクールにするための発展的改善を実行委員会で検討していく必要がある。																																														
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 他との競合は避けられないところであり、出場者、観客を維持・増加させるための方策について、十分に検討し、改善策を文書化して行政、議会、諸団体との協議・調整にあたっていただきたい。</p> <p>○ 大曲市時代から続いている新人音楽祭コンクールは、全国的にもレベルの高い大会として定着している。運営に当たる実行委員会と市民ボランティアが市との共同作業に積極的に参画し、裏方として大きな支えとなっているようだ。 全国規模大会への参加者を集めることの難しさもあるようだが、音楽のまちの伝統を守りながら実行委員会の更なる改善工夫を願うものである。</p> <p>○ 課題欄に記されている、「『音楽のまち』の伝統を守りつつ、さらに市民が親しみ地元が盛り上がるコンクールに…」に大賛成である。改善内容検討に際しては、難しい課題も多いと思われるが、英断を期待したい。</p>																																														

事務事業の点検・評価表

	番号	19	分野	芸術・文化	担当課	文化財保護課
事業名	鈴木空如資料調査研究事業					
事業の目的	鈴木空如の画業調査と作品の修復を行い、その調査結果に基づく画業や人物を顕彰し、市民の連帯感の醸成と文化財を活用したまちづくりを目指す。					
事業の実施状況	事業費		5,950千円			
	<p>法隆寺金堂壁画模写の表装は平成23年度から26年度までの継続事業で、26年度は最終年度。</p> <p>模写は大壁が4枚、小壁が8枚の合計12枚がある。</p> <p>平成23～25年度では小壁8枚と大壁2枚を表装修復済み。</p> <p>平成26年度では大壁2枚(9号:弥勒浄土図・10号:薬師浄土図)を表装修復。</p> <p>委託実施期間 平成26年6月2日から平成27年1月6日まで</p> <p>表装金額 4,406,400円</p> <p>請負業者 秋田市榎山登町3番2号 木村表装店</p> <p>仙台市博物館、東京藝術大学大学美術館、新潟県立近代美術館、朝日新聞社主催による「東日本大震災復興祈念・新潟中越地震復興10年「法隆寺-祈りとかたち」」において展示され、また、NHK日曜美術館でも「祈りの仏画 鈴木空如と法隆寺金堂壁画」と題して放映された。</p> <p>市でも「鈴木空如特別展 画聖 空如・祈りとかたち展」と題して、10月24日から11月3日まで国民文化祭応援事業として作品等の展示を実施した。11日間の会期で1,660人の入場者であった。</p>					
自己評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> 達成したが課題があった </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input type="checkbox"/> 達成できなかった </div> </div> <p>平成23年度からの4か年事業で、鈴木空如模写法隆寺金堂壁画12枚の表装修復が順調に実施され完成した。同一事業者の表装により斉一性のとれたきれいな仕上がりになっている。また、各地での展示により全国的にも知名度があがり、文化財としての価値も認められ、地元でも鈴木空如の顕彰が行われ着実に事業の成果が表れてきている。</p>					
課題等	鈴木空如模写法隆寺金堂壁画は知名度もあがってきており、展示の要望が多くなってきているが、大仙市内には常設展示ができる会場がない。					
外部評価 有識者の意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の貴重な文化財であり、保存とともに、展示、貸出等により、広く知られるように今後とも取り組んでいただきたい。市内での展示スペースについては困難な点はあるが、今後とも実現に向けた努力を続けていただきたい。 ○ 鈴木空如作品の12枚の表装修復が完成したが、市内には常設展示できる会場がないことは残念なことである。新築には多額の費用と時間もかかることが想定されることから、くらしの歴史館を活用できないか検討してみてもどうだろうか(1階から2階までのぶち抜きスペースの確保など)。 ○ 多くの方に見ていただいてこそ、文化財としての価値が高まる。常設展示できる施設が、是非ほしい。 					

事務事業の点検・評価表

番号	20	分野	スポーツ	担当課	スポーツ振興課
----	----	----	------	-----	---------

事業名	大仙市制施行記念駅伝競走大会																																																															
事業の目的	本大会を通じて、地域スポーツの一層の活性化を図り、駅伝愛好者の底辺拡大や青少年の健全育成、更には地域のコミュニケーションづくりを目的とする。 また、スポーツ活動による地域の連帯意識の醸成と、生涯スポーツへ参加の動機づけに繋が ることを期待するものである。																																																															
事業の 実施状況	事業費		691千円																																																													
	毎年、6月第1日曜日に開催しており、旧大曲市の頃から開催されてきたが、市町村合併を機 に大仙市制施行記念として改め、本年で第11回目を迎える。旧大曲市時代からの通算は、62 回目となる。																																																															
	<p>大仙市制施行記念駅伝競走大会 参加数推移 (H24~)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>平成</th> <th>回数</th> <th>総チーム数</th> <th>走者数</th> <th>一般</th> <th>マスターズ</th> <th>高校</th> <th>中学男子</th> <th>中学女子</th> <th>女子</th> <th>地域対抗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>8</td> <td>62</td> <td>313</td> <td>28</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>9</td> <td>53</td> <td>265</td> <td>20</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>0</td> <td></td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>10</td> <td>52</td> <td>263</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>11</td> <td>43</td> <td>217</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>										平成	回数	総チーム数	走者数	一般	マスターズ	高校	中学男子	中学女子	女子	地域対抗	24	8	62	313	28	5	7	3	4	7	8	25	9	53	265	20	8	6	0		6	13	26	10	52	263	15	7	7	3	1	5	14	27	11	43	217	8	7	8	2	1	4
平成	回数	総チーム数	走者数	一般	マスターズ	高校	中学男子	中学女子	女子	地域対抗																																																						
24	8	62	313	28	5	7	3	4	7	8																																																						
25	9	53	265	20	8	6	0		6	13																																																						
26	10	52	263	15	7	7	3	1	5	14																																																						
27	11	43	217	8	7	8	2	1	4	13																																																						
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった																																																															
	<p>本大会は、地域や職場、学校や陸上関連団体など、市内外から様々なチームを編成して参 加されている。中には、大学や社会人で全国的に活躍したトップアスリートが出場しているチ ームもあり、記録的にもハイレベルな大会となっている。 平成23年度、第7回大会からは新たに大仙市地域対抗部門を追加して全7部門とし、地域の 連帯とコミュニケーションづくりが図られるように努めている。 また、市内交通事情の変化に伴い、第7回大会から大仙警察署の指導を仰ぎ、コースを変更 し事故防止に努めている。 このほか、中学・高校生を除いた優勝チームへ、副賞として「大曲の花火」桟敷席を呈呈し ており、たいへん好評を得ていることから、花火の街「だいせん」のPRにも一役を買っている。</p>																																																															
課題等	<p>競走終了と同時に、記録集計業務を急務としているが、H26は計時トラブルから2時間以上 の時間を要した。今後は、30分~1時間以内で集計が完了できるようシステムの改良が必要と なる。 大会運営のスタッフ数を、職員と陸上競技協会・高校生を含むボランティアスタッフ等合わせ て260名以上配置しているが、一般の方々は高齢化が進みスタッフ不足となってきたことから、 新たな人員の育成が急がれる。</p>																																																															
外部評価 有識者の 意見・評価	<p>○ 参加者数の減少、一般部門の減少が目立つことから、この点についての改善を期待した い。 ○ 62回目を迎える伝統の大会であり、市民に定着した恒例行事となっている。交通事情が 変化していることから、コースの設定については警察署と緊密な連絡・許可を取りながら対 応してほしい。また、参加選手の体調不良などに対する緊急時の対応については、万全の 対策をお願いしたい。 ○ 街頭での声援に、マスターズや地域対抗の選手が笑顔で応えるなど、随所にほほえまし い光景が見られた。中・高等学校チームにとって、目標の大会の一つへと成長するよう、願 ってやまない。スタッフ不足については、共に考えていきたい。</p>																																																															

事務事業の点検・評価表

番号	21	分野	スポーツ	担当課	スポーツ振興課
----	----	----	------	-----	---------

事業名	総合型地域スポーツクラブの育成と支援																																																																	
事業の目的	身近な生活圏である市内8地域ごとに、地域住民の誰もが、性別、年齢、障がいの有無にかかわらず参加できる総合型地域スポーツクラブを育成し、地域の連帯意識の高揚、世代間の交流等、地域コミュニティの活性化や再生に寄与することを目的とする。																																																																	
事業の 実施状況	事業費 0千円																																																																	
	平成18年に大曲スポーツクラブが設立され、以降、現在まで七つのスポーツクラブが設立となっている。また、大仙スポーツクラブ(神岡地域)が総合型に移行する準備を進めている。																																																																	
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="10">大仙市 総合型スポーツクラブ推移</th> <th>平成27年2月23日 現在</th> </tr> <tr> <th>後期総合計画</th> <th>平成18年度末</th> <th>平成19年度末</th> <th>平成20年度末</th> <th>平成21年度末</th> <th>平成22年度末</th> <th>平成23年度末</th> <th>平成24年度末</th> <th>平成25年度末</th> <th>平成26年度末</th> <th>平成27年度末 (目標値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画上の推移</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>1</td> <td>-----</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>-----</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実際設立推移</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>総合型クラブ</td> <td>大曲 スポーツクラブ H18.2.26設立</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>おおた スポーツクラブ H22.2.26設立</td> <td>内小友 スポーツクラブ H23.4.1設立</td> <td>花輪グリーンウインズ スポーツクラブ H25.2.24設立</td> <td>中仙 スポーツクラブ H26.3.9設立</td> <td>西仙北 スポーツクラブ H27.2.22設立</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大仙協和 スポーツクラブ H26.3.16設立</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ 総合型移行中のスポーツクラブ: 特定非営利活動法人大仙スポーツクラブ(神岡地域) ◎ スポーツクラブの無い地域: 仙北地域 南外地域</p>	大仙市 総合型スポーツクラブ推移										平成27年2月23日 現在	後期総合計画	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 (目標値)	計画上の推移	-----	-----	-----	1	-----	3	4	4	-----	5	実際設立推移	1	1	1	1	2	3	4	6	7	7	総合型クラブ	大曲 スポーツクラブ H18.2.26設立				おおた スポーツクラブ H22.2.26設立	内小友 スポーツクラブ H23.4.1設立	花輪グリーンウインズ スポーツクラブ H25.2.24設立	中仙 スポーツクラブ H26.3.9設立	西仙北 スポーツクラブ H27.2.22設立										大仙協和 スポーツクラブ H26.3.16設立	
大仙市 総合型スポーツクラブ推移										平成27年2月23日 現在																																																								
後期総合計画	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 (目標値)																																																								
計画上の推移	-----	-----	-----	1	-----	3	4	4	-----	5																																																								
実際設立推移	1	1	1	1	2	3	4	6	7	7																																																								
総合型クラブ	大曲 スポーツクラブ H18.2.26設立				おおた スポーツクラブ H22.2.26設立	内小友 スポーツクラブ H23.4.1設立	花輪グリーンウインズ スポーツクラブ H25.2.24設立	中仙 スポーツクラブ H26.3.9設立	西仙北 スポーツクラブ H27.2.22設立																																																									
								大仙協和 スポーツクラブ H26.3.16設立																																																										
自己評価	<input type="checkbox"/> 順調に達成した <input type="checkbox"/> おおむね達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成したが課題があった <input type="checkbox"/> 達成できなかった <p>大仙市では、地域の実情を踏まえたスポーツクラブとして、旧市町村ごとに1クラブ以上の総合型地域スポーツクラブ設立を目指してきた。平成27年度末までに5クラブを目標としていたが、26年度末に7クラブが設立され、クラブ数では目標を上回っている。 また、総合型スポーツクラブが未だ設立に至っていないところも3地域あるが、神岡地域のサッカーを主とした大仙スポーツクラブが総合型に移行する予定であり、残る仙北地域と南外地域についても秋田県体育協会クラブアドバイザーなどを活用して、創設に向けた取組を推奨していく。</p>																																																																	
課題等	<p>総合型スポーツクラブ創設から5年間にわたり、日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじ(toto)助成金から自立支援事業助成金等の財源を見込むことができるが、年々助成額が減額されていることに加え、受け取りについても実績による後払いとなったことから、各クラブにおいて財源不足が顕著となっている。</p> <p>総合型地域スポーツクラブの数は増えてきているものの、市民への知名度が未だ低いため、会費収入等によりクラブの安定的な財源を確保することが困難なことから、公共スポーツ施設をクラブの活動拠点として有効活用できるよう充実を図るとともに、地域住民へのサービス向上に配慮しつつ、指定管理者として総合型地域スポーツクラブを指定できるよう、管理運営の弾力化が求められる。</p>																																																																	
外部評価 有識者の 意見・評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財源不足が各クラブの運営にどのような影響を与えているのかについて具体的に検証し、財源の確保ないし事業の見直しなど、対策を練っていただくことを期待する。 ○ 似たような組織として体育協会・スポーツ少年団等があり、市民には分かりにくい部分もあるようだ。未だ設立されていない3地域の組織化に向け、取組を推奨してもらいたい。 ○ 総合型地域スポーツクラブが、目標数を上回って設立されていることは、根気強い努力によるものであり、関係各位の労に敬意を表したい。その運営上の課題解決にも難儀が予想される。今しばらくの行政サイドからの支援継続を、切にお願いしたい。 																																																																	

学識経験者の総評

佐藤 修司（秋田大学教授）

大仙市の学校教育、社会教育、文化財、スポーツ等に関して、少子高齢化、人口減少、財政困難の中で多大な努力が払われ、教育事務全般についての事業の発展が図られていることに敬意を表します。

今後、困難な状況が続くことを考えれば、教育事務の再編・縮小を想定せざるを得ないわけですが、地域社会の再生産にとって教育が不可欠なものであることを広く訴えることで、少しでも再編・縮小を押しとどめていく必要があると考えます。また、少ない資源の中で、いかに効果的な事業を、いかに効率的に実施するかが今後一層問われてきます。

その意味で、教育事務の点検・評価にあたっては、地域社会の維持・発展に対する寄与と検証を行っていただき、事業の効果性、効率性を重視していただくようお願いいたします。また、学校教育、社会教育、文化財、スポーツ等の垣根を越えた、横断的で、組織的かつ計画的な取組が求められるところですので、さらに教育委員会以外の部門との協働も幅広く展開していただきたいところです。

点検・評価では、全ての事業を対象とするのではなく、特徴的な事業を各部門、機関単位で一つないし二つを選択して事業評価を行っています。全事業を点検・評価することは外部評価委員の手に余り、また、担当職員の多忙化を招くことから望ましいことではないでしょう。ただ、各部門・機関においては、担当する全事業について、一定の点検・評価を自主的に行っていると思われますので、担当する全事業の中で、外部評価の対象とする事業がどのような位置を占めているのかについて意識した上で、選択していただくようお願いいたします。

次年度以降も、以上の点に留意していただければ幸いです。

鈴木 三郎（社会教育委員）

大仙市が誕生して10年になりますが、依然として人口減少と少子高齢化が進んでいます。こうした中で市の教育行政は将来を見据えた学校統合を実施し、併せて給食センターの統合整備を図る等、教育環境整備に力を注いでいることは評価されることと思います。

小・中学校の空き校舎については、旧峰吉川小学校がくらしの歴史館として活用され市民内外からの参観者で賑わっているなど、殆どの空き校舎が地元に着した積極的な利活用が認められます。

中学校生徒海外派遣事業や情報モラルいじめ対策事業などは、長期にわたり継続してその効果が現れるものと思われます。今後も継続した取組を望むものです。

南外地域は自主防災組織への積極的な取組や、さなぶり大会、南外小唄大会、運動会、盆踊りなどの地域密着型行事を積極的に行い、合併以前の賑わいを見せています。地域住民が喜んで参加するような仕掛けが隠されているものでしょう。他の地域にも好影響を与えて貰いたいものです。

今回選定された21事業全般については順調、おおむね達成したがほとんどですが、課題があったも4件ありました。

これまでの内容の見直しを行うなど、今後の発展を期待するものです。

毛利 博信（元小・中学校長）

（学校教育）

平成26年度も県外からの教育視察団が、引きも切らず市内小・中学校を訪れた。質の高い義務教育を、しっかりと支えてくださっていることに感謝申し上げたい。「秋田に追いつき、追い越せ」が目標とされている以上、7年連続学力全国トップレベルにも、陰りが出ることもあろうと予想する。その折にこそ、より温かく学校を支えていただきたい。

全ての小・中学校に「いじめ」、又は「いじめに近い状況」が存在していると思われる。すでに配慮いただいていることではあるが、教職員や保護者、さらには児童生徒からの相談や依頼に、迅速に適切に対応できる体制づくりを一層進めていただければありがたい。

（生涯学習・芸術文化）

生涯学習や芸術文化に関わる多くの団体においては、活動を継承する若年層の育成が、大きな課題になっている。地域での生涯学習の和が広がり、地域芸術文化の裾野が広がるよう、行政サイドからの積極的な広報と支援をお願いしたい。

（スポーツ）

平成27年、大仙市はチャレンジデーにおいて初勝利した。注目すべきは、勝利よりも参加率が年々上がっていることである。25年41%、26年47%、27年52%の参加率上昇は、主管課はじめ、平素から地域スポーツの振興に地道に取り組んでいる方々の努力の結果であると受け止め、敬意を表したい。